

# 設楽の城砦めぐり

ツタムス

— 法華城編 —

ほっけじょう



法華城全景を望む

法華城は、名倉地区を流れる名倉川最上流部の市場口川右岸側に位置する。

北設楽郡史に、南北二峯あり、南峯は頂上に平地なく、北峯はそれより三〇メートル高く円錐形を呈し、山頂に約二アールの平地があり、御岳・秋葉神社の石祠を存する。鍬塚城と名倉諸城との繋の城と記述されている。

現状を調べると、北峯と南峯は緩やかな尾根で繋がり、鞍部の里道から両山頂に登ることがができる。北峯の山頂は不鮮明な平地があり、ここからは鍬塚城が直視できない。南峯は麓から比高四〇メートルの小山で、山頂は細長い尾根となって、鍬塚城がはっきりと直視できる。

南峯の住所が字法花城、地名が城名になるのは普通であるが、城名が使われることは少なく、北設楽郡内に二例あり、その一つがこの城である。

(愛知県文化財保護指導委員)

加藤 博俊